

市民のFACE 横顔

世界一に挑戦

80歳ジャンパー堀野^{ほりの}正^{ただし}さん

8月4日からフランス・リヨンで開催される世界マスターズ陸上競技選手権大会。マスターズ陸上の棒高跳びで全日本大会9連覇、アジア大会3連覇中の堀野正さん（小山田町在住）が、この世界大会に向けて練習に励んでいます。

今年80歳を迎えた堀野さんは、山口県の出身。中学から陸上を、高校から棒高跳びを始め、3年生の県大会では大会記録を更新する3才22を跳び優勝、インターハイにも出場した実績を持っています。



社会人になって競技から離れていましたが、57歳の時に新聞でマスターズ陸上の参加募集の記事を見つけたことをきっかけに再開、翌年から全日本大会に出場することに。その後、腰のけがに見舞われ、競技に長く参加できなかったものの、審判員として関わり続け、70歳で再び選手への復帰を果たします。

堀野さんは現在、年に7、8回大会に出場。長年の経験から、競技を続けていくために「無理をしない」ことを心掛けています。その一方で、目標を持つことの大切さや、目標に対する熱い思いを語ります。

「バーを越えた時は気持ちいい」と話す堀野さんの現在の目標は、「世界大会で金メダルを取る」と。80歳ジャンパーが世界大会で見据えるバーの向こうには、大きな目標の達成と「90歳で世界記録を塗り替える」という夢の続きが広がっています。